

平成19年度決算がまとまりました

保険料の増加などにより黒字決算となる

平成19年度決算が7月22日に開催された第88回組合会において承認されましたので、お知らせいたします

保険料収入は、 前年度より約5千万円増加

平成19年度の当健保組合の決算は、経常収支で黒字を計上、3年連続の黒字決算となりました。

収入では、事業主と被保険者のみなさまから納めていただいた保険料が、被保険者数、標準報酬月額等の増加を反映して前年度比5028万円増加の25億9017万円となりました。収入総額では28億6403万円で同比2億4409万円の増加です。

支出では、みなさまが医療機関にかかったときの医療費や、傷病手当金などの給付金として充てられた保険給付費が同比2938万円増加の12億6210万円となりました。高齢者などの医療費に使われた拠出金は11億7328万円で、サラリーマンOBの医療費が大幅に増えたことにより同比3億2079万円の増加です。

このほか、みなさまの健康づくりの費用として、健診の実施や健康相談、保養所利用補助などにあてた保健事業費は9086万円となりました。これらを合わせた支出総額は同比3億3

平成19年度収支決算のあらまし

健康保険

■収入

科 目	決算額 (千円)
みなさまと事業主から納められた保険料	2,590,170
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	35,177
その他	238,684
合 計	2,864,031



■支出

科 目	決算額 (千円)
病気やけがやお産をしたときに健保組合が負担した保険給付費	1,262,102
高齢者などの医療に使われた拠出金	1,173,287
健康づくりに使われたお金	90,867
健保組合が互いに助け合うための拠出金	35,006
その他	50,756
合 計	2,612,018

介護保険

■収入

科 目	決算額 (千円)
介護保険料	205,947
その他	12,429
合 計	218,376

■支出

科 目	決算額 (千円)
介護納付金	197,188
その他	21
合 計	197,209

497万円増加の26億1201万円です。

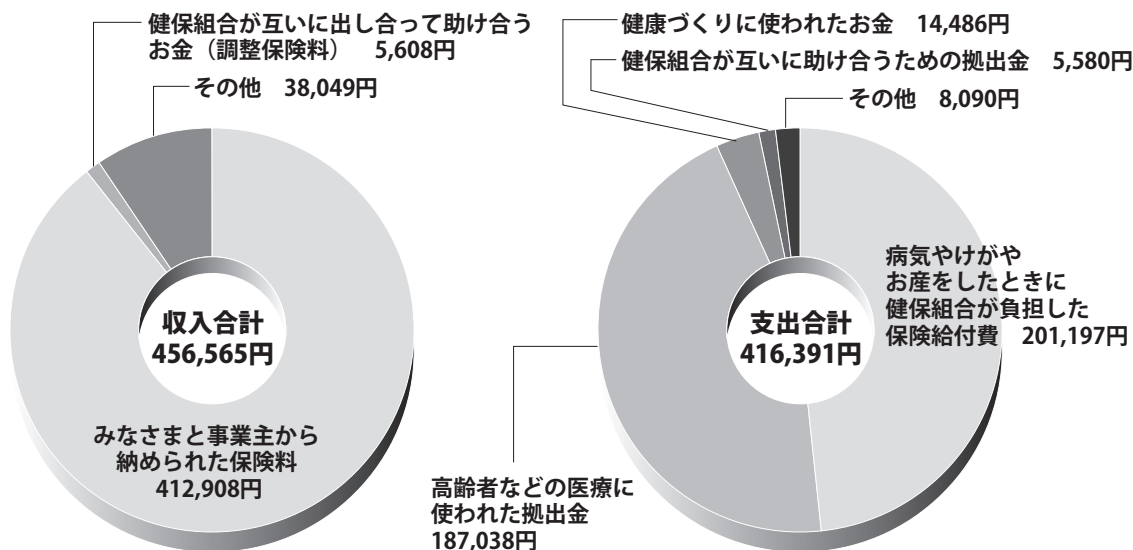
以上のことから、収入支出差し引きは2億5201万円、実質的な収支である経常収支では2570万円の黒字を計上することができました。

高齢者医療制度等により 20年度以降、 厳しい財政運営に

黒字決算で終わることができた当健保組合財政ですが、20年度は一転して厳しい運営を強いられることとなります。みなさまも存じのとおり、20年4月からスタートした高齢者医療制度にともない、後期高齢者医療制度への支援金・前期高齢者医療制度への納付金という大幅な負担増加に加え、40歳以上の被保険者・被扶養者を対象とした特定健診・特定保健指導の実施による保健事業費の増加が見込まれております。さらには、原油価格高騰、株価低迷など日本経済の先行き不透明な状況を考えますと、20年度以降の運営は予断を許さない状況にあります。

当健保組合としましては、今後も継続して効率かつ適正な事業の運営、また、みなさまの健康増進のための事業を重点的に行ってまいります。みなさまも運動習慣を身につける、栄養バランスのとれた食事など、自己の健康管理を日ごろから心がけていただき、医療費節減にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

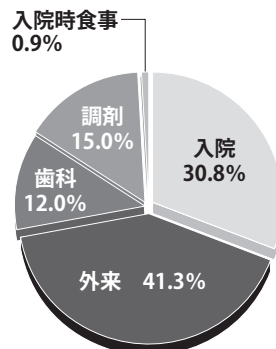
被保険者1人あたりでみた健康保険収支決算



医療費の状況（平成20年5月分）

		平成 20 年		平成 19 年		増減率 (%)
		5 月分(千円)	構成割合 (%)	5 月分(千円)	構成割合 (%)	
医療費総額		95,558	100.0	95,457	100.0	0.1
内 訳	入院	29,438	30.8	30,667	32.1	▲ 4.0
	外来	39,399	41.3	40,523	42.4	▲ 2.8
	歯科	11,464	12.0	9,993	10.5	14.7
	調剤	14,350	15.0	13,333	14.0	7.6
	入院時食事	907	0.9	941	1.0	▲ 3.6
	訪問看護	0	0.0	0	0.0	0.0

平成20年5月分の 医療費の割合



	平成20年5月(人)	平成19年5月(人)	増減(人)	増減率(%)		平成20年5月分
被保険者数	6,367	6,347	20	0.3	前期高齢者該当者	141人
被扶養者数	6,060	6,580	▲520	▲7.9	前期高齢者医療費	5,341千円